「仁高にいこう」を世界に広げよう! key word その2

令和3年度が始まって、約3週間になります。昨年度は、16日始業式、入学は17日、その後すぐに5月11日までの臨時休校。それを思うと、学校があよろこびは格別です。コロナ禍において現在、県の警戒レベルが「3」に引きげられ、県外との往来自粛要請が出されています。仁高では、これまでと同様、新しい生活様式を踏まえ、日常の生活で注意すべきことを再確認しながら、端に萎縮せず、「クリティカルシンキング」で歩んでゆきたいと思います。

(1)「仁高にいこう」を合い言葉に学校を活性化しよう

令和2年7月3日に、先生方のプロジェクトチ ームを立ち上げました。その名も「(仁高)増や です。 すプロジェクト」 秋田県の人口減は、 にか ほ・由利本荘地区でも例外ではありません。 志願者が少な んの世代は、 高校の定員に対して い状況が続いています。本校への入学志願者の 数年続いている状況に対 少傾向が、 してがで して Γ 生方が 調査・研究を通して、対応策を提案する るか?」 仕事が当初の目的でした。 11月中旬には報告書 をまとめ、入学志願者を増やす方法のみならず上げる方法も考え、一部「見える化」しており 者を増やす方法のみならず、在校生の満足度を一部「見える化」しております。具体的には、、ロゴ入りポロシャツの略装等への使用許可に 在校生の満足度を ロゴマークの作成と 向けた検討、校門前の「夢の世界をノックしよう」の看板が「仁高でつなごう地域と未来」に変更予定、バレーボール、ソフトテニス、総合運動、資格取得等部活動の復活と新設、その他にも様々な企画 うとしています。 を提案し、 実行しよ 挑戦」と位置づけて、 生徒の代表にも参加し 7 」仁高の未来を創造していきます。 「師友 もろ とも手を取りて ・職員合同会議の開催が、近々の学校活性化のみならす、 き創立50周年に向けた「確かな一歩」になることを期待 す。「仁高にいこう」を軸に、生徒の力で学校を活性化し 生徒 るべき創立50周年に向けた いま ください。

(2)「ルーティーン」が思考の基軸をつくる

を読んでいただき、ありがとうございます。令和3 「鳥海讃歌」 から文末の囲み内にある★が6つから7つになりま 年度 (第40号) アイコンタクトも三年目を迎え、 「3」をつけました。 海讃歌」には、毎回この7つの★が登場します。 「に高生の皆さんには、是非「7つ星」のキーワードを繰り返し、 「学びのお守り」にしていただければ幸いです。

- アイコンタクト(i con t act 3)を心がけてください。目と目で通じ合い、face face で向き合いながら、「考えながら行動する」笑顔の素敵な人間たれ!メモをとる習慣を確立しましょう。生徒手帳をフル活用してください。メモをとる習慣は、呼吸に立ちます。意識力=意思・意志(瞬間)+気力(持続)です。意識力を育成することで、学力が増幅します。考えたことを継続してやり抜きま式です。「日己有用感」を高めてください。そのためにあなたは何に挑戦しますか?「自己有用感」を高めてください。感謝の心と自己肯定感を持つことが大切です!NPTは仁賀保高校プログラミングは、Trial&Errorで進めましょう!「自分事」「当事者意識」を持って取り組む仁高生に変身しましょう!